

見てみよう！歴史災害記録と旬のあいち

May 2021 vol.85

May							
S	M	T	W	T	F	S	
						1	
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	
30	31						

◆ 砂防の碑

所在地：豊田市藤岡町

交通：東海環状自動車道「豊田藤岡」IC 北東約 12km

2020 年の「令和 2 年 7 月豪雨」や 2018 年の西日本豪雨（平成 30 年 7 月豪雨）、2014 年に広島県などに大きな被害をもたらした「平成 26 年 8 月豪雨」など、近年「線状降水帯」の発生によるものとされる豪雨災害が頻発しています。この地域に大きな被害をもたらした平成 12（2000）年の東海豪雨も、線状降水帯の発生によるものとされています。

線状降水帯は、幅 20～50km 程度、長さ 50～200km 程度の降水帯が、数時間ほぼ同じ場所にとどまり大雨をもたらすもので、同じ場所で連続的に積乱雲が発生し、それが同じ経路で移動しながら発達することによって、その経路上に大雨をもたらすことになります。特に、この線状降水帯が南北に移動しない状況が発生すると、同じ場所に長時間大雨がもたらされることになり、災害級の豪雨となります。梅雨前線に沿って線状降水帯が発生する梅雨の時期には、北は冷たい空気の塊の黄海高気圧に固定され、南には湿った空気を送り込む太平洋高気圧が張り出し、その結果、線状降水帯の位置が南北に固定されやすくなります。こうして、線状の降水域が数時間にわたってほぼ同じ場所に停滞し、大雨がもたらされます。

頻発する線状降水帯による豪雨に備えるため、気象庁では、2021 年の梅雨時期から、線状降水帯の発生を盛り込んだ「顕著な大雨に関する気象情報」を発表することとしており、線状降水帯の発生により「命に危険が及ぶ災害発生の危険度が高まっています。」と呼びかけます。また、将

来的には発生予測につなげていくことが期待されており、海上の水蒸気量などを観測するため、今年から、東シナ海に 2 隻の観測船も派遣し、観測データを活用して、今夏から九州地方で線状降水帯の発生予測の試行が始まります。

さて、昭和 47（1972）年 7 月、中国・四国・九州地方を中心に全国的に被害が発生した豪雨災害があり、愛知県でも豊田市の旧小原村や旧藤岡村で、大きな被害が発生しました。「昭和 47 年 7 月豪雨」と呼ばれるこの豪雨では、「梅雨前線北方の高気圧は強く、太平洋高気圧も強くその峯線へ南方洋上の台風と前線に沿う湿舌が顕著に現われ、豪雨となった」とされ、小原村や藤岡村の区域では継続的に大雨となり、7 月 9 日から 14 日にかけて、350mm を超える雨量となっています。これを等雨量線図で表したものが下図です（「47・7 豪雨による愛知県西三河地方の災害について」より引用）。先述の高気圧などの状況とこの等雨量線図を見れば、いまで言う線状降水帯が発生し、大雨がもたらされたことが想像されます。

藤岡村の木瀬地区では、昭和 47 年 7 月豪雨で、白川からの土石流により 12 名が犠牲となりました。土砂災害から流域住民の生命と財産を守るため、愛知県では、昭和 60 年度から砂防ダムの建設に着手し、平成 2 年度に県下最大級の規模となる白川砂防ダムが完成しました。砂防の碑は、この白川砂防ダムの建設を記念して、平成 3 年 3 月に建てられたものです。



砂防の碑
（国土地理院 HP より）



◆ 災害にまつわる碑や史跡には、実際にその地域で起こったことが記録されているだけでなく、当時の人たちの思い（二度と被害を繰り返さないように、など）が込められています。碑や史跡の前では、災害が実際にこの地域で起こるということを実感していただくとともに、そうした先人たちの声に耳を傾け思いを巡らせ、身の回りの備えにつなげ、これからの防災に活かしてください。

◆砂防の碑の周辺には…

● 小原ふれあい公園

所在地：豊田市小原町

交通：おいでんバス「小原大草」停 南西 約 200m

昭和 47 年 7 月豪雨で、旧小原村では 32 名の方が犠牲となりました。小原ふれあい公園には、犠牲となった方々の慰霊のために、昭和 48 年に建立された



災害犠牲者慰霊碑、村の復興を記念し、昭和 50 年 10 月に建立された災害復興記念碑が安置されています。

● 西山神社

所在地：豊田市若草町

交通：おいでんバス「医療センター」停 北西 約 400m

昭和 19（1944）年昭和東南海地震の際に、西山神社内の祠が倒壊しています。また、昭和 20 年三河地震の際にも被害がありました。

◆詳細な地図は『歴史地震記録に学ぶ 防災・減災サイト』（<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>）をご覧ください。

★ ふじまつり

旧藤岡町内、豊田市御作町の「ふじの回廊」は、「ふじ」に親しむことができる散策路で、372m の区間に、九尺藤、紫三尺、八重黒龍、シロバナ藤の 4 種類のふじが植栽されています。毎年 5 月上旬には満開のふじの花が咲き誇り、大勢の観光客が訪れます。

藤岡では、ふじの花が見頃になる 4 月下旬からゴールデンウィークにかけて、ふじの回廊をメインに、ふじまつりが開催されます。



Aichi Now HP より

満開のふじの花のもと、特産品の販売や無形民俗文化財「棒の手」の演技などが行われ、周辺の施設と連携したコンサートなども開催されます。（2021 年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためステージイベント等は中止）

●ブレイクタイム●

♪ 川口やな

やなは、鮎が産卵のために川を下る頃に、川をせきとめて竹の簀を張り、水とともに下がる鮎を採ることをいいます。愛知県では、西三河から奥三河にかけて、観光やなが多く点在し、シーズンになると、多くのファミリーが鮎のつかみどりを満喫します。

藤岡の川口やなは、矢作川の清らかな流れの中に作られたやなで、例年、4 月下旬に、愛知県内のどこよりも早くオープンします。新鮮で活きのいいアユの味をお楽しみいただけます。



藤岡観光協会 HP より

● 超仁寺

所在地：豊田市池島町

交通：おいでんバス「築平」停 北西 約 1.5km



「愛知県歴史全集 寺院篇」には、超仁寺では、昭和 20（1945）年三河地震及び集中豪雨などで甚大な被害が発生したため、修復に尽力したことが記されています。



あいちの農産物

すいかは、原産地はアフリカのカラハリ砂漠とされていますが、日本へは安土桃山時代に渡来し、古くから親しまれてきた果物（農産物の分類では野菜）です。西方からきた瓜と言うことで、西瓜と書きます。

すいかを割ると目に飛び込んでくる鮮やかな赤色は、主としてリコピンで、他にカリウムやカロチンを含んでいます。すいかと言えば夏の定番ですが、収穫は 5 月終わり頃から始まります。愛知県内の主な産地は、田原市、豊橋市です。



愛知県園芸農産課 HP より

◆この地域の災害に関する碑・史跡、資料・体験談集、地域に残る古文書、研究資料、郷土史研究者・団体などの情報がありましたら、gensaisan2014@gmail.com まで情報をお寄せください。

◆県内の歴史地震記録をホームページで紹介しています。各地の碑や史跡等にご興味をお持ちいただけましたら、『歴史地震記録に学ぶ 防災・減災サイト』（<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>）をぜひご覧ください。

（発行：減災の会・名古屋大学減災連携研究センター 2021 年 5 月）